

2024年

3月号

ふれあいネットワーク



やめ社協だより

発行●社会福祉法人八女市社会福祉協議会(八女市社会福祉会館内) 〒834-0031 八女市本町599番地

多世代交流事業「冬あそびと豆まき会」が開催されました

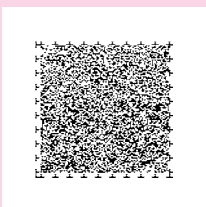


1月28日(日)、多世代交流館「共生の森」において『冬あそびと豆まき会』が開催されました。

オープニングでは八女神太鼓による、迫力ある太鼓演奏が披露され、賑やかな雰囲気の中で開催されました。

当日は、地域の子どもやおじいちゃん、おばあちゃんまで、多くの方が参加されました。子どもたちは、シニアクラブや民生委員児童委員の皆さんから「凧づくり・新聞あそび」を教えてもらいながら、世代を超えた交流を楽しみ、会場はたくさんの方の笑い声であふれていました。初めて自分で作った凧が揚がると、「おー!」という大きな歓声も上がっていました。

最後は、今年の干支である「辰年」生まれの方が袴を着て豆まきが行われ、「おにはーそとーふくはーうちー」の掛け声で参加していた皆さんからはたくさんの方の笑顔が溢れ、会場は大盛り況でした。



赤い羽根共同募金へご協力いただきありがとうございました



～ とどけよう やさしさつなぐ 赤い羽根 ～

令和5年度に八女市の皆さまからお寄せいただいた募金総額

11,783,242円



令和5年10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されました。八女市でも、多くの皆さまにご協力いただき、**総額11,783,242円**の募金が集まりました。集まった募金の約78%は、下記のとおり地域福祉の推進を目的として、八女市内の地域福祉事業へ配分されます。他にも、募金の一部を毎年「災害等準備金」として積み立てており、災害発生時のボランティア活動を支援しています。

11,783,242円

令和5年度に八女市の皆さまからお寄せいただいた募金総額



- 福岡県内の福祉施設の車両購入や施設整備
 - 災害発生時のボランティア活動の支援等に活用
- 約22% (2,649,510円)**



八女市内の地域福祉事業へ
約78% (9,133,732円)



高齢者福祉のため

- シニアクラブ活動支援
- 在宅介護者の会活動支援
- ボランティアによる配食サービス事業 など



障がい児・者福祉のため

- 障がい者福祉活動支援
- 共同作業所運営支援
- 手話や音訳活動支援 など



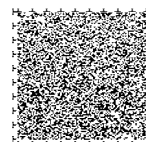
児童・青少年福祉のため

- 子ども食堂や学習支援事業
- 福祉読本「ともに生きる」教材費(福祉教育推進)
- 母子寡婦福祉活動支援 など



住民福祉のため

- ふれあいサロン運営支援
- 福祉のつどいや福祉委員活動支援
- ボランティア活動支援 など



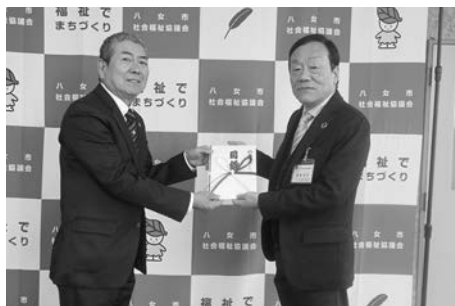


八女ライオンズクラブより寄附金を贈呈

1月31日(水)に八女ライオンズクラブ(安徳育弘会長)様より、八女市内の子ども食堂及びフードバンクに寄附金を贈呈いただきました。

八女ライオンズクラブでは、子ども食堂・フードバンク支援に取り組み、子ども食堂の運営支援としてボランティア活動も行われています。

安徳育弘会長からは「子ども達のためにも、継続して支援を行っていきいたい」と話がありました。贈呈いただいた寄附金は、市内の子ども食堂の支援をはじめ、フードバンク事業の充実のために活用させていただきます。ご支援ありがとうございました。



子ども食堂支援の会より寄附金を贈呈

1月25日(木)に子ども食堂支援の会(木下美保子代表)様より、八女市内の子ども食堂に寄附金を贈呈いただきました。子ども食堂支援の会が主催して、1月13日(土)にチャリティー社交ダンスパーティーを開催され、子ども食堂への支援金を募られました。

贈呈いただいた寄附金は、八女市社会福祉協議会を通じて、八女市内の子ども食堂へ配分させていただきます。ご支援ありがとうございました。



西日本短期大学附属高等学校で地域貢献活動を実施

赤い羽根共同募金活動の取り組み

地域貢献の取組みとして10月の登校時のあいさつ運動や11月の文化祭等のイベント時に、赤い羽根共同募金活動を実施されました。

市内の高等学校において、赤い羽根共同募金の活動を独自に実施されるのは初めてで、生徒の皆さんに赤い羽根共同募金について知っていただき、「福祉」と「寄附」に関わる機会となりました。

集まった募金については、共同募金会八女市支会を通じて、福岡県共同募金会へ全額送金し、八女市内の福祉事業に活用されます。ありがとうございました。



フードドライブ運動の取り組み

校内にて、生徒の皆さんが取り組まれた『フードドライブ』で集まった食品を寄贈していただきました。今回が初めての取り組みで、これからも継続して活動を実施されるこのことです。寄贈いただいた食品は、食の支援が必要な方に提供させていただきます。

ご支援ありがとうございました。

フードドライブとは...

家庭で余っている食品を学校や職場等に持ち寄り、それらを取りまとめて地域の福祉団体や施設、及びフードバンク等に寄附する活動です。



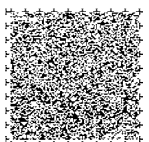
▲食品寄贈の様子です



▲募金寄贈の様子です



▲校内での募金活動の様子です





立花小学校で育てた野菜で「おでんづくり」 たちばな子ども食堂が調理指導

1月17日(水)、18日(木)、立花小学校2年生の生活科の授業で「たちばな子ども食堂」の皆さんに2日間にわたり、おでんづくりを指導していただきました。

食材は児童たちが育てた野菜を使用しました。初めて包丁を扱う児童や自宅での料理を作ることがある児童、調理の経験は様々で、顔見知りの「たちばな子ども食堂」のスタッフということもあり、児童たちもより積極的に取り組まれていました。

できあがったおでんは、みんなで食べました。自分たちで作った料理でもあり、よりおいしく感じられ、微笑ましい笑顔で食べている姿が印象的でした。

児童たちは、自分で育てた野菜を調理する「食育」の大切さを学び、地域の子ども食堂のスタッフの皆さんと交流を図れたことで、貴重な経験になったようでした。



ゆいのもり「左義長」 行いました



1月12日(金)、高齢者生活福祉センター 居住者、デイサービス利用者、特別養護老人ホーム入所者の皆さんで、毎年恒例の「左義長ひだりぎぢょう」を行いました。今回は地域の子どもたちとの交流を目的に、矢部保育園の園児を招待しました。

門松や正月飾りを入れたやぐらに火が付くと「パン！パン！」と大きな音を立てて燃え上がり、参加した皆さんで、今年の無病息災を祈願しました。その火で焼いた餅を食べられた皆さんは、大変喜ばれました。園児からは、「最初はびっくりしたけど楽しかった。」「また来年も来たい。」といった、嬉しい声が飛び交っていました。

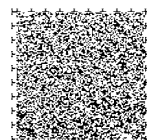
今後、様々な方に施設行事に参加していただき、「ゆいのもり」が交流と福祉を知っていただく場になっていきたいと思えます。



▲燃え上がるやぐらを見守りました



▲園児と一緒に点火しました





乗合タクシーを活用しました

10月27日(金)、山中サロンが乗合タクシー(ふる里タクシー)を利用してサロンを開催されました。乗合タクシーを知っていても、実際に利用したことがない方が多く、一度利用をすることによって、利用がしやすくなるのではとのこと、サロンの世話人さんが、サロンで利用してみようとの思いから計画されました。

乗合タクシーは、自宅から目的地まで利用することができですが、今回は地域の公民館から未来農業カフェまで利用されました。参加者12名中9名が初めての利用でしたが、「乗り心地がよくなって乗っていたかった。」「利用したことがなかったので、利用出来てよかった。今度また利用してみたい。」との声が聞かれました。

乗合タクシーを利用したことで、移動手段の選択肢を増やすことにつながったようでした。



黒木地区日常生活圏地域ケア会議が開催されました

12月27日(水)、黒木地区日常生活圏地域ケア会議が開催されました。高齢者が住み慣れた地域で、安心安全に暮らせるよう、地域課題の掘り起こしや課題解決の方向性を探ることを目的として開催されています。

今回は「認知症・精神疾患の疑いのある方の対応」がテーマでした。地域で困っている方やどのように対応したらいいかわからない事等を専門職や専門機関へつないだり、関係者と連携をとったりして対応した事例の報告がありました。

その報告をもとにした協議では、「日頃の見守りや専門職への必要な場合のつなぎ、病気や症状についての正しい理解」等についての意見が出されました。特に、日頃の見守りの活動については、福祉委員や見守り連絡員だけでなく、地域全体で取り組み、安心して生活できる地域をめざしていくという方向性が確認されました。



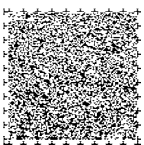
黒木町民見協「かんころの家」を視察研修

黒木町民生委員児童委員連絡協議会では11月16日(木)、佐賀県武雄市西川登町にある「かんころの家」を視察研修されました。

「かんころの家」は高齢者の集う場が欲しい、移動に困っているという課題に対応するために、通いの場として開設され、そこまでの移動手段として福祉有償運送が行われています。この施設には、高齢者の困りごと相談所や生きがいづくりのための野菜販売所も併設されています。将来は「かんころの家」を地域の拠点施設としての活用もめざされています。

黒木町には地域の方々が交流する場として黒木地域交流センター(ふじの里)年間6万人の方々が利用)があり、高齢者の生きがい対策として直売所を設置しています。

全国的に少子高齢化が進行する中において、高齢者が生き生きと日々を過ごすことができる拠点施設としての重要性を感じる事ができた研修となりました。





ほっとフレンドふぁーむの冬野菜が大きくなりました！

昨年は冬野菜の種まきが例年より遅れてしまいましたが、やっと収穫できるほどに成長し、ほっと館利用者と収穫しました。

完全無農薬で育てているため、若干の虫食いもみられましたが、安心して食べていただけるものが出来ました。その日のうちに袋に詰めて、共生の森で販売し、子ども食堂にも提供しました。

今回初めて、玉ねぎづくりにも挑戦しました。玉ねぎは順調に成長しており、先日草取り作業も行いました。

他にも、レタス・サニーレタスもハウストンネルの中でスクスク育っています。野菜の成長は、皆さんの楽しみとなっています。



3月の行事予定

- 3月 9日(土) 13:30～ 笑福クラブ親の会 (不登校ひきこもり親の会) 定例会
- 3月 19日(火) 10:30～ お料理教室
- 3月 23日(土) 14:00～ ひまわりの会 定例会

精神対話士による無料相談会 (※毎月第2土曜日・第4木曜日)

- 面談日：3月 9日(土)・28日(木) 13:30～15:30
- (事前予約制となっております。事前に下記の問い合わせ先までお電話ください。)

※「ひまわりの会」は、生きづらさを感じる子の保護者、そしてそんな皆さんをサポートする人の集まりです。



ほっと館やめ(上陽)より～初詣と寄り道 ー 書初め～

今年最初の利用日に、北川内公園内の神社へ初詣に行きました。今年一年の安寧を願い、手を合わせたあと、この時期にしては暖かく気持ちのいい天气に誘われて、公園下の星野川の河原へ寄り道をしました。小鳥のさえずり、清流のせせらぎ、透き通る川底、そして川の流れの先には、寄口の石橋…溢れる自然と先人達が遺されたもの…どちらも大切な故郷の誇りです。

初詣の後はほっと館やめ(上陽)に戻り、書初めをしました。新春の年に一度の毛筆の機会に気持ちが引き締まります。利用者は、『辰』『龍』『銀河』『鶴』『亀』等の文字を丁寧に書かれました。

それにしても、この今年の干支の一文字、上手に書かれていると思いませんか？



(※右記のQRコードよりほっと館やめホームページをご覧になれます。)



問い合わせ

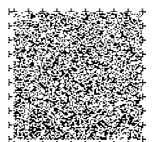
ほっと館やめ

☎22-8315 携帯090-6893-5701
メールアドレス：hottokan@road.ocn.ne.jp

ほっと館やめ(上陽)

☎24-9820 携帯090-7457-4053
メールアドレス：hottokanjyoyo@gaea.ocn.ne.jp

※ほっと館やめでは、✉メールでの相談も受付けています。お気軽にご活用ください。





八女市身体障害者福祉協会 会員募集!!

八女市身体障害者福祉協会は、身体障害者手帳保持者の団体で「身体障がい者の生活しやすい環境づくり」「福祉向上のための運動」「自立支援のための活動」等、一人ではできないことをみんなで実現するための協会です。活動は行政からの福祉情報のお知らせや障がいについての相談、会員相互の親睦のための事業(スポーツ大会やバスハイク等)を行っています。八女市内の身体障害者手帳所持者を対象に会員を募集しています。



●問い合わせ

八女市身体障害者福祉協会事務局
☎ 23-0294 (八女市社会福祉協議会)



日本赤十字社八女市地区 からのお知らせ

「令和6年能登半島地震災害義援金」 の受付を開始しました

令和6年1月に能登地方を震源とする地震、津波等の影響により、石川県、富山県等で人的及び家屋への甚大な被害が発生しました。災害により被害を受けられました皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

被災された方々を支援するため、日本赤十字社では下記の通り義援金を受け付けております。

お寄せいただきました義援金は、日本赤十字社福岡県支部へ送金し、その後、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお届けします。

義援金の募集については、被災都道府県の判断によるものであり、日本赤十字社はその判断に基づき、受付を実施しています。

皆さま方の温かいご支援をよろしく申し上げます。

●**受付期間**：令和6年 1月 4日(木) から
令和6年1月27日(金) まで

●**義援金受付口**：八女市社会福祉協議会
本所・各支所窓口

●**受付時間**：8時30分～17時15分
※受領書を希望される場合は発行いたします。

●**問い合わせ**：日本赤十字社八女市地区
〒834-0031
福岡県八女市本町599番地
☎ 0943-23-5816

※義援金は窓口でお預かりした後、日本赤十字社福岡県支部へ全額送金させていただきます。

※八女市社会福祉協議会では募金箱も設置しています。

地域献血のお知らせ

皆さまのあたたかいご協力をお願いします

〔献血の基準(400ml献血の場合)〕

- 年齢**：男性17～69歳 女性18～69歳
※65歳以上の献血については、
60～64歳の間に献血経験がある方に限ります。
- 体重**：男女とも50kg以上
- 最終的な献血の可否は、ご本人様の当日のご体調等も勘案し、献血会場の健診医師が総合的に判断いたしますので、あらかじめご了承ください。**

- 日時**：3月4日(月)
10時～11時30分/12時30分～15時30分
会場：株式会社 熊谷光玉園
- 日時**：3月15日(金)
10時～12時30分/13時30分～15時30分
会場：黒木地域交流センター「ふじの里」
- 日時**：3月19日(火) 10時～12時/13時～15時30分
会場：八女市立花市民センター
- 日時**：3月21日(木) 10時～12時
会場：八女市農業活性化センター
- 日時**：3月21日(木) 14時～16時
会場：八女市総合体育館
- 日時**：3月28日(木) 10時～12時
会場：八女市室岡公民館
- 日時**：3月28日(木) 14時～16時
会場：マンガ倉庫 八女店
- 問い合わせ**：八女市献血推進協議会(八女市社会福祉協議会内)
☎ 23-0294

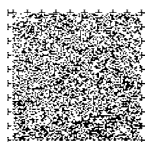


社会保険労務士相談会開催 のお知らせ!!

労働問題や社会保険、年金等について困りごとはありませんか?八女市社会福祉協議会では今回、福岡県社会保険労務士会の協力により、下記のとおり「社会保険労務士相談会」を実施します。

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

- 日時**：3月27日(水) 13時30分～16時
- 会場**：八女市社会福祉会館
- 問い合わせ**：八女市社会福祉協議会
☎ 23-0294



八女市社会福祉協議会
公式LINEアカウント

友だち追加用QRコード



聞こえる安心、防災ラジオ

八女市の防災等緊急情報はFM八女【80.1MHz】を通じて放送します。



リサイクル適性(A) 環境に配慮した植物性大豆インキを使用しています。

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

